

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3581)6211(代表)
定価1部 108円(税込み)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL http://www.jimin.jp/

自由民主

市川かずひろ 事務所

〒251-0015 藤沢市川名2-2-3 第1えのはビル
TEL:0466-26-4230 / FAX:0466-26-4220
E-mail ichikawa-kanagawa@soleil.ocn.ne.jp
URL http://ichikawa-1ch.com

市川和広 ブログ 検索 市川和広 facebook 検索

藤沢の想いを 神奈川へ!

皆様のご支援のおかげ様で、藤沢の想いを神奈川へ届ける役割を担わせていただいておりますことに感謝申し上げますとともに、今後もしっかりとその責任を果たしてまいります。
私、市川和広の、1期4年間の本会議・一般質問をご紹介します!



市川 和広(いちかわ かずひろ) プロフィール

- 昭和46年4月8日 鶴沼神明に生まれる
湘南台中学校 卒業
日本大学藤沢高校 卒業
日本大学法学部経営法学科 卒業
大和工務リース(株)入社(現大和リース(株))
衆議院議員(甘利明)公設第二秘書
藤沢市議会議員初当選(3,693票獲得)平成19年
藤沢市議会議員2期目当選(4,037票獲得)平成23年
神奈川県議会議員初当選(14,208票獲得)平成27年

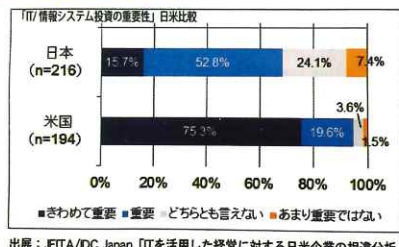
- 所属 議会運営委員会
厚生常任委員会
決算特別委員会
役職 藤沢土木協同組合 顧問
藤沢左官業組合 顧問
藤沢市電設業協会 顧問
藤沢市管工事業協同組合 顧問
藤沢市緑化事業協同組合 顧問
藤沢若とび連合会 顧問
少林寺拳法藤沢善行スポーツ少年団 顧問
藤沢市バドミントン協会 会長
日本大学藤沢高等学校中学校後援会 副会長
日本大学藤沢高等学校中学校同窓会 副会長
新林地区社会体育振興協議会 会長
藤沢のめだかの学校をつくる会 相談役
湘南藤沢カラオケ連合会 顧問
みょうわ会 顧問
藤沢市太極拳連盟 顧問
藤沢社交ダンスサークル連合会 顧問
トリトン藤沢スポーツクラブ 顧問

市川かずひろ

◆平成27年第3回定例会 (9月25日)

・中小企業の新たなIT活用について

《市川の主張》
「国内企業のIT活用は、社内の業務効率化やコスト削減といった「守り」を主眼としたものが多い。しかしこれからの企業が成長し国際競争に勝ち抜くためにはIT活用を積極的に活用していくことが必要。守りのITから攻めのITへと県内企業の発想転換を後押しし、モチベーションを高めていくため、「攻めのITビジネスモデル」を県が認定・表彰するなど「ITのブランド化」を行うべき。」



出展: JETA/DC Japan 「ITを活用した経営に対する日米企業の相違分析」
市川の提案により、認定・表彰制度が実現しました!
新産業やビジネスを生み出すツールとして活用していくことが必要。守りのITから攻めのITへと県内企業の発想転換を後押しし、モチベーションを高めていくため、「攻めのITビジネスモデル」を県が認定・表彰するなど「ITのブランド化」を行うべき。」

◆平成28年第3回定例会 (12月6日)

・栄養教諭の配置について

《市川の主張》
「近年、子供の食生活の乱れが指摘されており、子供たちが将来にわたって健康に生活していけるよう、栄養や食事のとり方などについて、正しい知識に基づいてみずから判断し、食の自己管理能力や望ましい食習慣を身につけていくことが重要。栄養教諭の退職に伴い、食育を含めて、知識、経験をどのように継承していくかが課題であり、若手の学校栄養職員を積極的に栄養教諭に登用すべき。」

栄養教諭の配置拡充へ
県議会 来年度から6校に1人
神奈川県教育委員会は、栄養教諭の配置について、2017年度から各校に1人の7割増強を計っている。しかし、県議会では、栄養教諭の配置拡充を求め、来年度から6校に1人の配置を拡充する。また、栄養教諭の退職に伴い、若手の学校栄養職員を積極的に栄養教諭に登用すべき。
(鈴木 昌徳)

栄養教諭の配置が拡充されました!

◆平成29年第3回定例会 (9月22日)

・江の島周辺のトイレの整備について

《市川の主張》
「神奈川県で管理している常設トイレは、江の島島内に5カ所、弁天橋に1カ所ありますが、いずれも老朽化しております。オリンピック会場としてはもとより、今後、江の島が国際的な観光地としてさらに発展していくためにも、トイレの整備は不可欠。オリンピックの会場になったことを契機に、地元藤沢市とも連携して、国際観光地にふさわしいトイレ環境を整備すべき。」

江の島周辺トイレ環境向上へ
県と藤沢市が整備
神奈川県と藤沢市は、東京五輪・パラリンピックのセーリング競技会場となる江の島周辺のトイレ環境整備に取り組む。県議会でも市川和広議員(自由民主党)の一般質問に、藤沢市第一工務部長が答えた。
江の島周辺には県管理で6カ所、市管理で7カ所の公衆トイレがある。しかし、老朽化、漏れ、洋式化が進んでいないなどの課題がある。
五輪で多くの外国人が訪れる場所としてはふさわしくない。このため、県は整備して今後、トイレの改善などに取り組む。
今後、組織委員会のパリアフリー基準に準拠しながら、各トイレの規模、洋式化、外国人が分かりやすい案内標識の設置などに取り組む方針。「国際観光地にふさわしいもの」として「考えたい」と考えた。
しっかりと答弁を引き出しました!

・都市計画道路横浜藤沢線の整備について

《市川の主張》
「本線のうち、住宅が密集している川名地区においては、事業が本格化するまでの間、歩行者の安全確保や緊急車両の通行を可能にするために、取得済みの道路用地を活用し、暫定的な生活道路の整備に取り組んでいますが、地元ではその一日も早い完成を待ち望んでおります。できるだけ早期に地元の期待に応えられるよう、残る区間の工事を進めるように。」

川名地区懸案事項である生活道路の早期実現に向けて全力で取り組みます!

トンネル検討へ地域説明

横濱藤沢線「川名工区」整備
トンネル区間の建設費削減や、環境への配慮など、地域の課題を踏まえ、トンネルの検討を進めています。地域説明会を開催し、関係者の意見を聴き取りました。

◆平成30年第3回定例会 (9月26日)

・東京2020オリンピック競技大会の成功に向けた取組について

《市川の主張》
「聖火リレーについては県民の関心も高く、また本県の魅力を国内外に発信できるまたとない機会であることから、前回同様、県全体で盛り上げていくことが重要であり、そのためには、可能な範囲で県の考えを県民の皆様を示していくことが必要。」

江の島が聖火リレーのルートになるよう強く要望しました!

・県民のくらしを守る取組について

《市川の主張》
「鉄道駅の安全対策は鉄道事業者の責務ではありますが、ホームドアの設置促進に向けて、県は、国や地元市と協調して、利用者数の多い駅などを対象に、鉄道事業者への補助を行っている」と承知している。しかしながら、藤沢駅を初め、まだまだホームドアの設置が十分でない状況の中で、利用者の安全の確保は大変重要であり、また、一たび事故が発生すると、鉄道の運行への影響は広範囲に及ぶことから、ホームドアの設置促進を図ることが不可欠。」



藤沢市域の駅の安全対策に全力で取り組みます!

・ともに生きる社会の実現に向けた県民意識の醸成について

《市川の主張》
「県では、ともに生きる社会かながわ憲章を策定し、約2年がたちました。県立津久井やまゆり園事件発生を受けて、障害者に対する差別や偏見を根絶し、ともに生きる社会かながわ憲章の理念を広め、真の共生社会実現をなし遂げていくことは、私たちの使命であり、責務であります。」



真の共生社会を成し遂げていくのは我々の使命です!

- ◆平成27年第3回定例会
・鬼怒川の水害を踏まえた取組等について
・マリンスポーツ・ビーチスポーツの振興について
・都市計画道路横浜藤沢線について
・健康団地づくりの着実な推進について
・防災教育について
- ◆平成28年第3回定例会
・神奈川県住生活基本計画の見直しについて
・中小企業・小規模企業の後継者不足への対応について
・スポーツを通じた健康づくりについて
・本県の養鶏業における鳥インフルエンザ防疫対策について
・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた市町村との連携について
・観光資源としての夜景の活用について
- ◆平成29年第3回定例会
・ビーチスポーツ・マリンスポーツの振興について
・災害対応におけるドローンの活用について
・県内中小企業の海外展開支援について
・未病センターの充実について
・東京2020大会に向けた地元関係団体等と連携した機運醸成について
- ◆平成30年第3回定例会
・セーリング競技の機運醸成に向けた取組について
・中小企業における働き方改革の推進について
・県政の諸課題について
・ペットの災害対策について
・海岸ごみ対策について



かながわ自民党の約束 2019

私たちには、創りあげたい神奈川がある。



「かながわ自民党の約束 2019」を通して、だれもが元気で幸せを実感できる社会を目指します。「かながわ自民党」は県民とともに歩むローカルパーティーであるという自覚と強い信念をもって行動し、この神奈川から新たな夢と希望を実現するために走り続けます。すべては神奈川県民のために。

① 未来を担う子どもたちへ

◆幼児教育無償化

次世代を担う全ての幼児に教育の機会を保障するため「幼児教育の無償化」の取り組みを進めてまいります。

◆待機児童対策の推進

待機児童対策を進めるために県内全域で保育士の人材確保策を進めます。

◆私学助成の拡充

私学に通う子どもたちの就学上の経済的負担を少しでも軽減し、私学の魅力向上や生徒確保に反映できるように私学助成を進め、次世代を担う子どもたちの教育環境の拡充に引き続き努力していきます。



国に先駆けて年収590万円未満世帯を対象とした私立高校等授業料の実質無償化を進めました。



◆児童虐待の未然防止・総合的対策

「子どもを守る」を原点に、未然防止等に係る機関での虐待防止に向けた相談・通報・保護・シェルター等の体制整備を進めるとともに対応能力の向上を進めます。

「児童福祉司をこの4年間で増員してまいりました。(政令市を除く)」
平成26年度：167人→平成30年度：205人へ

◆いじめ・不登校等への対応

「いじめ認知件数」及び「暴力行為発生件数」は、2年連続で増加しています。また「不登校」については、小・中学校において増加に転じており、SNS(LINE等)を含むいじめ等、児童・生徒の欠席要因が、ますます多様化・複雑化しています。これら喫緊の課題に対応し、外部専門職であるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置等の支援体制を強化してまいります。

② 医療・福祉・介護

◆がん対策の推進

がん検診の受診率向上による早期発見・早期治療に取り組めます。県立がんセンターにおける重粒子線治療(※)などの最先端医療によるがん治療に取り組めます。

※重粒子線治療…放射線治療の一種で、周りの組織を傷つけずに直接がん細胞に照射する治療法。抗がん剤治療と比べ副作用も少なく患者への負担が少ない。



県立がんセンター

◆医療・介護人材の育成・確保

高齢社会に伴い、医療・介護ニーズが高まり、質の高いサービスを提供するため、医療・看護・介護・福祉人材の育成に努め、さらに産科医・小児科医の不足を解消するため、人材の確保に努めます。

③ 安心して子どもを産み育てられる神奈川

◆結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援

結婚・妊娠・出産・子育てに臨む夫婦に寄り添い、親身になって対応できる環境整備を進めてまいります。切れ目のない支援を身近な地域で実現することで、これから家庭を持ち、妊娠・出産を希望する若い世代が、安心して子どもを産み育てられる神奈川を目指します。



④ ともに生きる社会かながわ

◆ともに生きる社会かながわの実現に向けた取り組み

平成28年に神奈川県議会が県とともに作成した「ともに生きる社会かながわ憲章」を推進し、誰もがその人らしく暮らせる地域社会へ県民総ぐるみで取り組めます。

◆かながわ手話言語条例の推進

自民党が主導し、全国で初めて議員提案により制定した「神奈川手話言語条例」の推進を図り、すべての県民が手話への理解を深め、自らが学ぶ場の構築を図ります。

◆医療的ケアを必要とする子どもたちへの支援

医療的ケアを必要とする子どもたちを支援し、より安全に学べる環境の整備に取り組むとともに、保護者の負担軽減を図ります。

⑤ 安全・安心

◆災害に強いまちづくり

近年、大規模自然災害が発生していることを踏まえ、市町村と連携しながらハード・ソフト両面から減災対策の強化に取り組んでまいります。

◆警察官の増員や組織体制の強化

大規模イベントに備え、外国人犯罪やテロ対策など、多様な犯罪に対応できる警察組織の体制強化を進めます。

◆特殊詐欺・高齢運転対策

近年多発する特殊詐欺や高齢者による自動車運転事故を減らすため、普及啓発活動に努めます。

◆道路交通標識の整備

生活道路や通学路における横断歩道等の道路標識や、交通標識に対する予算確保と必要な整備を着実に進めます。

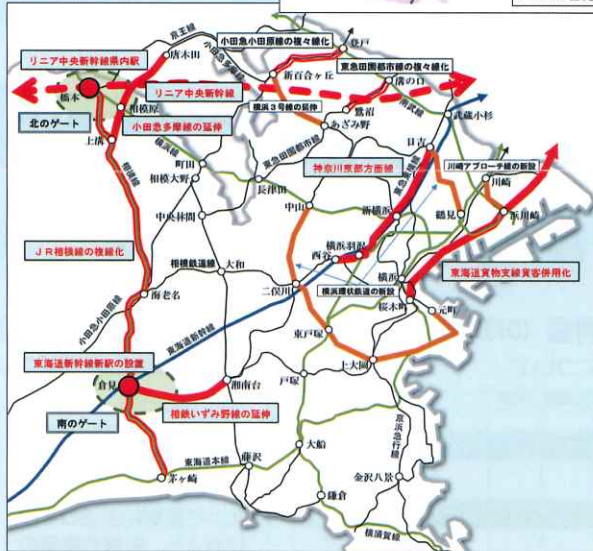
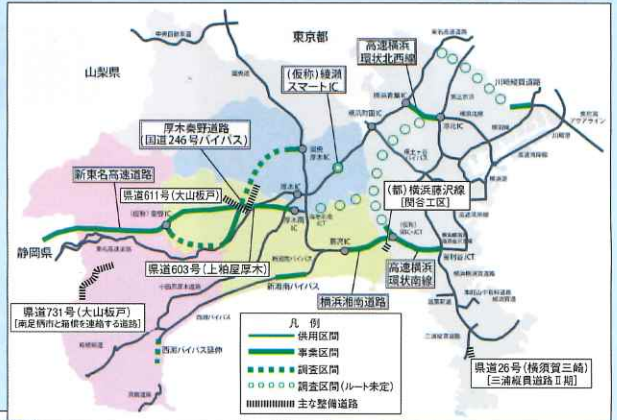


⑥ 交通基盤の整備

◆道路ネットワークの整備

もっと便利に！県内の自動車専用道路網(高速横浜南線北西線・新東名・綾瀬スマートインターチェンジ等、インターチェンジ接続道路・交流幹線道路)の整備を進めてまいります。

(自動車専用道路網の整備とインターチェンジ接続道路、交流幹線道路網の整備(主な路線))



「平成30年 第1回定例会 経済・産業対策特別委員会資料」から抜粋

◆鉄道ネットワークの整備

もっと便利に！県内の鉄道ネットワーク(リニア中央新幹線・東海道新幹線新駅・相鉄いずみ野線の延伸・相模線の複線化)整備を進めてまいります。

「北のゲート」「南のゲート」及び交通政策審議会答申第198号の神奈川の路線等を示したものを参照してください。

かながわの魅力はコチラ▶



⑦ 観光振興・地域活性化

◆魅力ある観光地の形成

国内外から多くの観光客を誘致するとともに、明治記念大磯邸園・大山・城ヶ島等の地域の文化資源を活かして賑わいを創出することにより、人を引きつける魅力ある神奈川づくりを加速します。

⑧ 地域経済の活性化・中小企業支援・雇用対策

◆特区を活用した活性化と産業振興

3つの特区(※)を最大限活用し、企業連携を促進し地域経済の活性化を進めます。
※3つの特区…さがみロボット産業特区、ライフイノベーション国際戦略総合特区、国家戦略特区

⑨ 農畜産業・水産業

◆都市農業の振興

2022年問題が迫る中、多くの生産緑地で農業が継続されるよう農地税制など国へしっかりと要望し、地産地消の推進や農業者の所得向上を図ります。

◆水産業の振興

・水産資源の確保や漁協の経営安定化を図り、水産業の振興に取り組む漁業者を支援します。
・水産物消費が減少している中、県産県消や学校給食などの魚食の普及に取り組めます。

◆鳥獣被害対策の強化

かながわ鳥獣被害対策支援センターを核に、暮らしや農林業に深刻な被害を及ぼすシカ・イノシシ・サル等の捕獲対策に全力で取り組めます。

⑩ 自然・環境・林業

◆SDGsの理念に則った地球温暖化対策の推進・資源循環・適正処理の推進

持続可能な開発目標<SDGs>を踏まえた、エネルギー政策と資源の循環利用などによる地球温暖化対策の推進、産業廃棄物並びに有価物の適正な保管と処理処分など環境保全に努めます。

◆森林保全と県産木材の利用促進

水源環境保全と新たに創設された森林環境税を活用し、森林保全と県産木材の利用促進を図ります。

◆花粉発生源対策

花粉の発生を抑える効果のある無花粉スギの植え替えに、積極的に取り組むとともに他県に植え替えを働きかけてまいります。

⑪ 文化・スポーツ

◆大規模スポーツイベントの開催にむけた取り組み

大規模スポーツイベントの成功に向けて、県内市町村と連携し、機運の醸成を図るとともに、必要とされるハード・ソフトの整備を進めます。

◆伝統芸能など文化芸術の更なる振興

県内各地の伝統芸能や文化芸術に多くの県民が親しめる機会をつくります。また市町村と連携し、次世代への継承に向けて取り組めます。

⑫ 議会改革

◆開かれた議会

・インターネット中継や、議会報告会の開催等、引き続き開かれた議会であるよう取り組んでまいります。
・タブレット端末を導入し、ペーパーレス化を進めています。

◆議員提案条例の更なる推進

県民の声に耳を傾け、地域の課題を解決する為、議員提案による政策条例の更なる制定を目指します。



かながわ自民党は「北朝鮮による日本人拉致問題の早期全面解決」を目指します。

機関紙「自由民主」ご購入

かながわ自民党

検索

自由民主のご購読を希望される方はホームページをご覧ください。

